

シリーズ 英語が話せる街 18

SASEBO de ENGLISH

市内の名物や名所を題材に、普段の生活の中で使える簡単な日常英会話をお知らせします。今回は船越町にある「淡島神社」を題材にした会話です。



- Nahoko Are you interested in "power spots" ?
(パワースポットに興味ある?)
- Emily Of course.
(もちろん)
- Nahoko This is a torii where your wishes come true.
(これは願いが叶う鳥居なのよ)
- Emily Wow.
(わお)
- Emily & Nahoko I wish everyone health and happiness.
(みんなが健康で幸せでありますように)



広報テレビ番組「キラっ都させば」放送スケジュール
第1土曜 NBC 9:25～9:30 KTN 11:45～11:50
第2土曜 NCC 16:25～16:30 第2日曜 NIB 6:30～6:35
第3土曜 NBC 9:25～9:30 KTN 11:45～11:50
第4土曜 NCC 16:25～16:30 第4日曜 NIB 6:30～6:35
毎週日曜 TVS 18:55～19:00
※上記内容を1カ月先行して放送しています。
※「キラっ都させば」と文字情報の「させば市政だより」は週替わりで放送しています。
※YouTube版はこちらからどうぞ。



シリーズ 西九州食財 16

長崎和牛



恵まれた大自然の中で、職人の手によって1頭1頭丹精と愛情を込めて育てられている、本市のオンリーワン産品「長崎和牛」。

本市は県内有数の畜産地帯で、繁殖から肥育までを市内で一貫生産しており、母牛を飼子牛を産ませて育てる「繁殖農家」と、繁殖農家が育てた牛を家畜市場で購入して出荷する「肥育農家」の両方が営まれています。また、市内の繁殖農家で生産された子牛を、市内の肥育農家が買い育てる「させば生まれ『させば育ち』長崎和牛」の生産にも取り組んでいます。

「長崎和牛」は赤身のうま味が強く、脂身もまろやかで、軟らかい食感とジューシーな口溶けが特長です。その味は全国でも認められており、全国から優秀な和牛を一堂に集め、5年に一度開催される和牛のオリンピックと称される「全国和牛能力共進会」では、長崎大会(平成24年)で「内閣総理大臣賞」を、宮城大会(平成29年)で特別賞の「交雑脂肪の形状賞」を受賞しています。

自宅などにいる時間が増えるこの時期に、どうぞ召し上がりください。

※長崎和牛の販売店・飲食店等は「長崎和牛銘柄推進協議会」HPからご覧になれます。



📍農業畜産課 ☎24-1111

人の動き(10月1日現在)

- 総人口 240,545人(前月比-159人)
男性 114,121人(-80人)、女性 126,424人(-79人)
- 世帯数 104,672世帯(前月比-89世帯)
- 9月中の動き
転入 452人、転出 517人、出生 162人、死亡 256人

「佐世保徳育推進会議」設立10年、徳育日本一のまちさせば



「つたえよう はずしていいよ ころのマスク」。

この標語は、令和3年度佐世保徳育推進会議「まちなか徳育標語コンクール」の入選作品で、福石小学校1年・川津羽衣さんの作品です。この作品以外にも、応募総数533作品(小学生172人、中学生345人、一般16人)の中から23作品(小学生7人、中学生15人、一般1人)が入選されており、これらの作品は令和4年度の徳育推進カレンダーに掲載される予定です。

さて、今年度は「佐世保徳育推進会議」が設立10年目を迎えました。早くから「徳育」を推進することの重要性については誰もが認めるところですが、実際に推進するとなると「人の心」にかかわることであり、どのように進めていけばいいのか思い悩み、市民の皆さまへの啓発活動は難しいのではないかとされていました。

しかし、平成23年から果敢に取り組まれたのが、長崎国際大学の木村勝彦副学長を会長とし、佐世保市教育会や商工会議所(女性会・青年部を含む)、PTA連合会、校長会、保育会、青年会議所、町内会連合会、老人クラブ、民生委員児童委員協議会など数多くの団体や市民で構成される「佐世保徳育推進会議」でした。

その活動は現在も続き、「徳育推進フォーラム」「一徳運動」「徳育推進標語コンクール」「徳育カレンダー(全世帯配布)」「広報させば・徳育通信(聞いて徳する話:本号で115回)」「佐世保市歌の普及」などが行われています。



佐世保徳育推進ロゴマーク

徳育に関してこれだけの活動を続けている都市は、本市において他にないと確信していますし、市民として「徳育日本一のまち」と誇っていいことだと思います。

改めて、この10年を振り返り、ここまで本市の徳育を推進していただいた木村会長や役員の方々の皆さま、そして徳育の重要性を理解し、ご協力いただいている市民の皆さまに心から敬意を表し、感謝申し上げます。

ことしの徳育推進フォーラムのあいさつの中で、木村会長は古代ギリシャの哲学者アリストテレスの「人は繰り返し行うことの集大成である」という言葉を引用されました。徳育は一朝一夕にその効果や変化が出るものではありません。どの時代でも、どのような状況下でも、「徳育のともしび」をともし続けたいという強い意志を持ち続けた人がいたように、次の世代に繰り返し伝え続けることが現代に生きる私たちの務めではないでしょうか。

佐世保市長 朝長 則男

徳育通信 115

聞いて「徳」する話 76 親切なる振る舞いが気付かせてくれたこと

先日、私が病院に行った時の出来事です。

年配の患者さんと看護師さんが何やらもめているようでした。そのやりとりを聞いていると、有効期限が切れて使えなくなった保険証を持って来ていることが原因だったようで、付き添いの人が一緒になって新しい保険証を探しながら、年配の患者さんをなだめていました。

私は、ご家族か親戚の人が付き添いに来ているのだろうと思っていましたが、その人はたまたまその場に居合わせただけの人のようでした。その人は年配の患者さんに「民生委員さんに相談してみてもどうですか?」「新しい保険証が見つからなかったら、市役所に聞いてみましょう」などと、親身になって相談に乗られていました。

見ず知らずの人を一生懸命手助けしている姿を見て、「親切な人は幸せです」という言葉が頭に思い浮かびました。

親切な人の振る舞いは、周りの人を幸せな気持ちにするだけでなく、自分以外の誰かに親切にすることの大切さを気付かせてくれた出来事でした。

(匿名希望)

「聞いて徳する話」募集中
身の回りで見つけた「聞いて「徳」する話」を募集中です。応募用紙は事務局で配布しており、市ホームページからもダウンロードできます。
📍佐世保徳育推進会議 ☎23-2856